

人形師 人形洋の仕事

徳島県文化賞受賞記念特別展 & 特別公演

2024年

4/20 → 5/26
saturday sunday

入場料 一般410円、高・大310円、小・中200円

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184

Tel.088-665-2202 Fax.088-665-3683

「木工作り一より習い十を知り 十より帰る元のその一」
「細工上手は研ぎ上手」
座右に掛けられたこの言葉を大切にしてきたことがわかるのが、人形洋の仕事である。人形洋のつくる人形には、伝統の重みをしっかりと継承する品がある。そしてその伝統の技術を、これまでにない新たな人形制作に活用し、宇宙人の人形まで創り出す柔軟なアイデアがある。もっといいものを作りたい、その志の高さが現れる人形洋の仕事を、ぜひ御覧ください。



木工作り一より習い十を知り

十より帰る元のその一

特別展

人形洋(甘利洋一郎)プロフィール

光秀や八百屋お七など古典作品の登場人物から、すだち君や宇宙人などオリジナル作品まで人形洋の仕事が感じられる作品を展示します。

●展示協力

能勢人形浄瑠璃鹿角座
阿波木偶作家協会、
阿波木偶箱まわし保存会、
阿波十郎兵衛座、勝浦座、
鳴門座、ふれあい座、寄井座



人形洋こと甘利洋一郎氏は、天狗久の流れを汲む田村恒夫氏(人形恒)に師事して以来半世紀以上、木偶制作に打ち込んできた。県内の人形座はもとより大阪の文楽や能勢人形浄瑠璃をはじめ全国各地の人形の制作や修理を手がけてきた。ベルギーやアメリカの博物館にも作品が収蔵されるなど、国内外で高い評価を得ている。また、現代美術家の杉本博氏演出の文楽「曾根崎心中」や清和文楽の新作「ワンピース」、能勢町のキャラクター人形など、伝統の技術を新しい人形制作にも活かしている。

(主な受賞歴) 平成 18 年 阿波の名工
平成 27 年 川島富五郎賞、現代の名工
平成 28 年 黄綬褒章、徳島県表彰
令和 2 年 地域文化功労者文部科学大臣表彰
令和 5 年 徳島県文化賞 など多数

特別公演

人形洋の木偶が登場!



能勢人形浄瑠璃「鹿角座」公演

4/27(土) 15:00~16:00 能勢三番叟、傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

大阪府の能勢町には 200 年以上に渡る浄瑠璃の「語りの文化」が伝わります。1998 年に能勢浄瑠璃シアターのプロデュースにより、人形と囃子を加え「能勢人形浄瑠璃」がデビュー。2006 年 10 月には新たに劇団として旗揚げをしました。所有する 60 体全ての人形は、徳島の人形洋が手がけたものです。
1999 年 日本演劇興行協会賞、大阪舞台芸術奨励賞
2007 年 サントリー地域文化賞

4/28 15:00 阿波木偶三番叟まわしと箱回し
目 ~16:00 人形:阿波木偶箱まわし保存会

5/3 11:00 傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段
金 ~12:00 太夫(口・奥):内田美峰
三味線:竹本友和嘉、人形:ふれあい座

14:00 傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段
~15:00 太夫(口):久次米三枝子、(奥):宮崎照美
三味線:鶴澤友丸、人形:寄井座

5/4 11:00 傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段
土 ~12:00 太夫(口・奥):澤田芽衣
三味線:竹本友和嘉、人形:勝浦座

14:00 傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段
~15:00 太夫(口・奥):佐中かをり
三味線:竹本友和嘉、人形:勝浦座

5/5 11:00 寿二人三番叟
目 ~12:00 太夫:竹内雅代、三味線:鶴澤友輔/川内中学校民芸部、人形:青年座

傾城阿波の鳴門 順礼歌の段
太夫:新田美香、三味線:鶴澤友輔、人形:青年座・ポラリス座
14:00 寿二人三番叟(CD)、日高川入相花王 渡し場の段
~15:00 太夫:竹内雅代、三味線:鶴澤友輔、人形:青年座・ポラリス座

5/19 14:00 恋女房染分手綱 重の井子別れの段
目 ~14:40 太夫:吉本藍玉、三味線:竹本友和嘉、人形:鳴門座

5/26 14:00 絵本太功記 尼ヶ崎の段
目 ~15:00 太夫:大橋后代、三味線:竹本友和嘉、人形:勝浦座



※上記日時は、定期公演「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」(毎日11:00~、14:00~)の内容を変更し、特別公演を実施します。